



朝市との半世紀

毎日、農村の人と町の主婦らの温かい触れ合いの場としてにぎわっている朝市。

金子たまえさん（篠座町、73歳）は、もう50年以上も前から朝市に立っている常連。朝7時には、七間通りに着いて店開きしています。

20%ほどの畑に、ホウレンソウ・白菜・ダイコン・キュウリ・メロン里芋といった季節の野菜を作っており、いつも新鮮なものを並べています。10年ほど前からは無農薬野菜に取り組んでおり、たい肥・油かすなどの有機肥料を使っています。

「おかげで、うらの野菜がええと
いうてこうてくれなはる人もいるん
にゃ。朝市とは長いつきあいやで、
深い愛着があるのお。毎日のように
出るせいか、健康そのものですね。
これからも、体が丈夫な限り続けたい
と思うてます」と、元気です。

大野地域職業訓練センター



センターの全景

昨年十月から中挾町で建設を進めていた、大野地域職業訓練センターが、このほど完成しました。機器や備品の搬入・整理もほぼ終わり、いよいよ十月一日にオープンします。

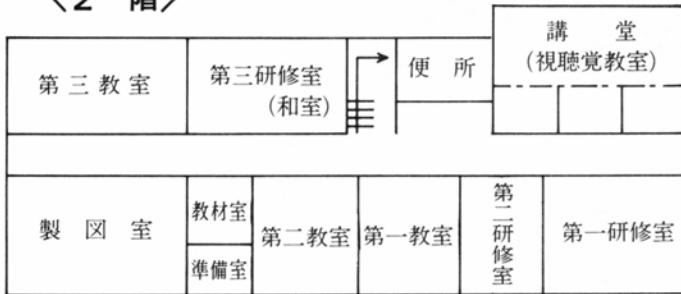
産業振興の核としてはもちろん、地域コミュニティづくりの場として幅広い活用が期待されます。施設の概要や利用方法などを紹介します。

所在地 中挾町 1,601 番地

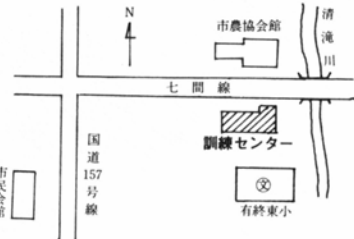
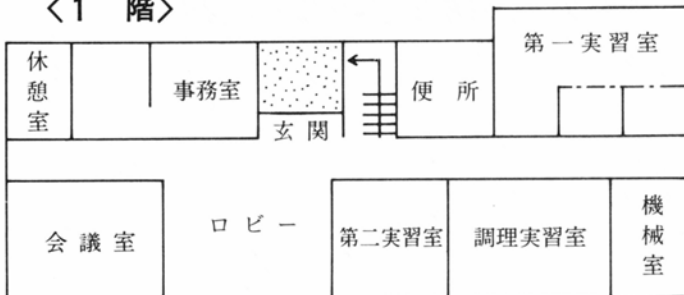
電話 5—6840

見取図

<2 階>



<1 階>



施設の概要

地域職業訓練センターは、雇用促進事業団が約3億円をかけて建設したもので、県内では武生市に次いで2番目の施設です。管理・運営は市が当たります。

場所は有終東小学校北側の市有地で、敷地は3,401平方メートルあります。

鉄筋コンクリート2階建てで、延べ1,410平方メートル。1階にはロビーをはじめ実習室2・会議室・調理実習室・事務室、2階には講堂(視聴覚教室)・製図室・教室3・研修室2和室研修室などがあります。

既に、製図用機や調理台・ビデオシステムなどが備え付けられておりオープンを待つばかりです。

いよいよ10月1日オープン

開館は午前9時～午後9時

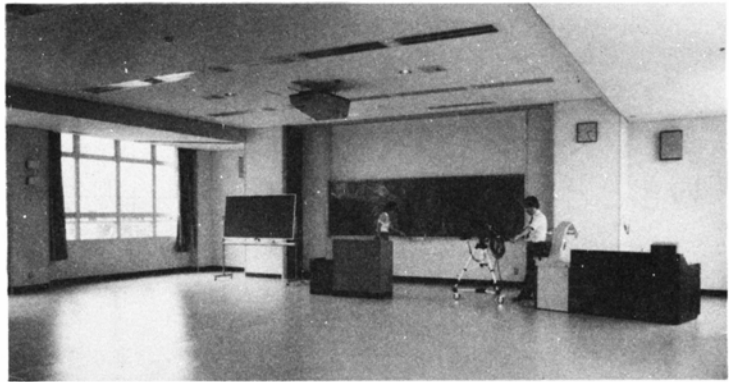
多面的な活用を

センターには、所長ほか3人の職員を置いて運営します。各種団体や企業に、職業教育訓練や研修をはじめ技能検定・資格試験などの会場として利用してもらうほか、市民のみなさんにもコミュニティづくりの場として提供します。

開館時間は午前9時から午後9時までです。日曜日、国民の祝日、年末・年始は休みます。利用する場合は、あらかじめ「使用申請書」をセンターへ出してください。

使用料は表のとおりです。ただし職業教育訓練などの目的以外に使う場合は2倍、営利を目的とする場合は3～4倍となります。

詳しい内容はセンターか、市役所商工観光課（6-1111内線291）へお問い合わせください。



ビデオ装置を備えた講堂

センターの使用料

種別	使用区分	9.00～13.00	13.00～17.00	17.00～21.00	全日
会議室	500円	600円	700円	1,400円	
実習室					
教室					
研修室					
製図室					
ロビー	1,000円	1,200円	1,400円	3,000円	
第一実習室					
調理実習室					
講堂 (視聴覚教室)					

※冷房・暖房を使用する場合は、5割増しとなります。

喜びの声

建築学校はセンターで開設

県建築組合大野支部長 北川 経夫さん



私たちの建築組合では、49年から「建築高等職業訓練学校」を開いています。現在も1～3年生21人が学んでいます。

これまで市民会館を借りて運営してきたわけですが、実技になると、その度に別の場所へ移動しなければならず、何かと不便でした。

今後は、近代的なセンターで授業できるので、大変にうれしく思います。私たち組合員も、技術向上に大いに活用させていただきます。

気軽に利用できる施設に

中挾町1区婦人会長 内山 君子さん



身近な場所に立派な公共施設ができて、とてもうれしいです。

いろいろな職業訓練の場を提供していただいて、若者の地元定着や地場産業の振興などに役立ててほしいと思います。

それに、地域の人でも利用できると聞いていますので、私たち婦人會も会合や研修に利用させていただくつもりです。

せっかくの施設ですから、市民がだれでも気軽に利用できるよう運営してほしいですね。



リハビリ機器を活用する入園者

幸せな老後

9月15日は「敬老の日」。社会のために尽くしてこられたお年寄りに、生きがいのある健康で楽しい生活をおくってもらうことはみんなの願いです。

がねらいです。

安間正治園長は「施設は収容の場ではなく生活の場です。閉鎖的なイメージをお持ちの人は一掃してほしいです。地域のみなさんに親しまれ信頼される施設にと心掛けています。それに、園にはリハビリ機器や寝たきりの人を対象にした特殊浴槽も備えてあります。地域の資源として活用していただければ……」と、話していました。

〈所在地〉篠座74-12
〈電話〉6-3307

ゆきとどいた処遇を目標に

特別養護老人ホーム 聖和園

聖和園は恩賜財団・福井県済生会が運営しています。事業を始めたのは昭和39年です。特別養護の対象は65歳以上のお年寄りです。身体や精神に障害があるため日常生活に常時介護を必要とする人です。

現在の入園者は123人で、市内からは32人います。職員は39人。

入浴や着衣を全面的に介助してもらわねばできない人が6割弱、歩けない人は3割強います。

人と人との和を基調に、家庭的な雰囲気の中で生活できるよう心掛けるとともに、各自が自由に活動できるようにも努めています。人間らしく、豊かで希望に満ちた老後をおくってもらうことを目標に「ゆきとどいた処遇」を目指しています。

ややもすると心理的・肉体的に生

ているのが特色です。

花見・慰安旅行・盆踊り・米寿祝いのもちつきなどの行事も行っています。①入園者同士の交流と地域社会との触れ合いを進め、生活に意欲をもつ②ベッドから離れる習慣をつけるとともに孤独感をなくす——の

利用者は年間2万人

市老人福祉センター

市老人福祉センターは、お年寄りの憩いと社交の場として昭和54年5月にオープンしました。

鉄筋コンクリート2階建て、延べ1,057平方メートル。総工費1億6,000万円建てられました。

1階には60畳の大集会場をはじめ浴室・機能回復訓練室、2階には教養娯楽室・茶室・研修室・図書室などがあります。管理・運営は市社会福祉協議会へ委託しており、高津秋隆所長以下5人の職員がいます。

年平均の利用者はおよそ2万人で

す。主として、市内の老人クラブを20班に分けて交替で利用する方法をとっています。無料で、マイクロバ

スによる送迎もしています。

ひとつふろ浴びて友達と楽しく話をしたり、健康機器でリフレッシュするのが魅力となっているようです。ゲートボールや囲碁などに興じる人も少なくありません。それぞれが、のんびりとセンターでのひとときを楽しんでいます。そのほか、交通安全・健康管理などをテーマにした講座や法話をはじめ、ボランティアによる歌や踊りなども行われています。

高津所長は「せっかくの立派な施設ですから、1人でも多くのお年寄りに利用してもらいたいものです。少人数の会合や研修にも活用できるのです。とにかく、今後もお年寄りに喜んでもらえるセンターに心掛けます」と、話していました。

〈所在地〉清滝133-20-1
〈電話〉6-2335



入浴でくつろぐ利用者

を願って

市内には、お年寄りのための福祉施設がいくつかあります。あなたはその内容をご存じですか。今回は、お年寄りの福祉施設をご紹介します。

自由なクラブ活動さかん

養護・特別養護
老人ホーム

大野和光園

和光園の沿革は、昭和21年、日の出善隣館内にできた養老部にさかのぼります。

26年に現在の上篠座に移転し、翌27年に法人組織となりました。当初は養護施設だけでしたが、入所時に健康だった人もやがて寝たきりとなる例も見られるため、48年に特別養護を併設したホームとなりました。

原則として65歳以上が対象で、現在は養護100人、特別養護51人が入所しています。全体の約3分の1は市内の人です。47人の職員が身の回りの世話をしています。

入園者の生活は、規律を乱さない限り自由です。自発的に庭の掃除をしたり、草花の手入れをする人もいます。生きがいづくりでは、生花・習字・絵画・刺しゅう・ゲートボール



ボランティアと、ちぎり絵を楽しむ入園者

ルといったクラブ活動に力を入れています。希望者にはプラスチックのおもちゃ部品の切り離しや、めがね用ケースの組み立ての内職も世話しています。

寝たきりなどの人には残存機能を確保してもらうため「離床運動」を中心に個々の実情に応じた生活指導を続けています。

年中行事は運動会・日帰り旅行・

演芸大会などいろいろですが、対外的な交流を深めることも大きな目標の一つです。

「地域に開かれた施設が目標です。家庭のお年寄りを対象にした短期保護事業や入浴サービスなども利用していただきたいと思います。入園者の要望も多様化していますので、近い将来は改築して個室制に切り替えたい考えです」と、柴山茂樹園長は語っていました。

〈所在地〉篠座79-11

〈電話〉6-2551

食事・看護付きの個室

軽費老人ホーム

一乗ハイツ

軽費老人ホームは、老人福祉法による施設です。家庭環境や住宅事情などの理由で、家庭で生活できない60歳以上の健康な人が対象です。

国の基準によって経費の約3分の1を支払って入居する、いわば食事

と看護付きのアパートです。

一乗ハイツは、社会福祉法人光明寺福祉会によって昭和55年に設立されました。県内では2番目の軽費老人ホームです。

建物は鉄筋コンクリート2階建て延べ1,552平方メートル。

単身者46人、夫婦2組が入居して

います。

完全個室で、1人部屋は6畳、夫婦部屋は12畳です。

入居者はみな県内の人ですが、市

内からも13人あります。身寄りのない人は1割くらいです。

ホームでは、個人生活を尊重しながらクラブ活動の指導や内職のあっせんなどを行い、生きがいづくりに努めています。

主なクラブには、ゲートボール・書道・民謡・カラオケ・手芸などがあります。

一乗玲子園長は「みなさん、本当にのびのびと思いきいに生活を楽しんでおられます。家族の方が見えて泊まっていられることもたびたびです。問題は病気などで寝たきりになった場合ですネ。安心して一生をおくっていただける施設づくりに専念したいと考えています」と、話していました。

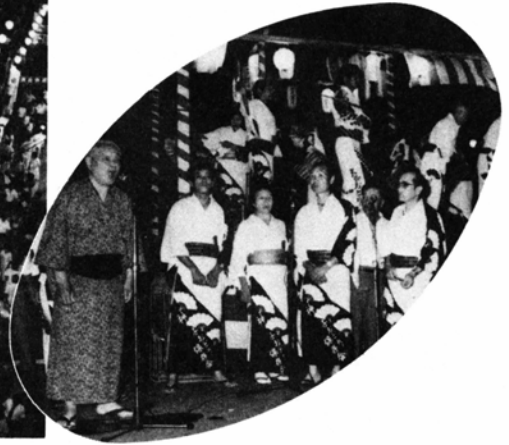
〈所在地〉花山1-1

〈電話〉5-7132



ゲートボールに興じる入居者

にぎわったおおのおどり (十五日、六間通り)



楽しかった

城まつり

城むすめが花添える



城むすめの審査風景と選ばれた三人 (下段)



石本 直美さん

市内美川町
18歳、学生



北野真由美さん

武生市大屋町
19歳、英語講師



林 真由美さん

市内新塚原
21歳、銀行員

人気を呼んだ吹奏楽演奏会



奥越の夏を彩る「第十六回おおの城まつり」は八月八〜十六日開かれおおのおどりを中心に盛りだくさんの行事が繰り広げられました。メインの十五日には「第一回ミス城むすめコンテスト」をはじめ、四中学校の吹奏楽演奏会や太鼓流し打ちなどが行われ、まつりムードは最高潮に。おおのおどりには市民・帰省客・観光客ら約三万八千人（実行委員会調べ）が六間通りを埋め尽くし、過ぎ行く夏の夜のひとときを楽しみました。最終日の十六日は台風の影響が出たものの、約二万人が踊りの輪を広げました。まつりに花を添えたのが城むすめコンテストです。約六十人の応募者の中から、書類審査と面接審査をパスした十人が浴衣姿で出場。川崎市長・宇野商工会議所会頭ら九人の審査員が人柄や話し方などを基準に、三人の城むすめを選びました。

私の夏

思い出のしおり

あなたにとって、今年の夏はどんな夏だったでしょうか。思い出深い夏を過ごされた人は大勢おられると思います。今回は、その中から3人のみなさんに登場願いました。

感激のベスト8進出

大野高校野球部 土蔵 有二さん

大野高校野球部は、夏の県大会で1回戦は敦賀工業高校を、2回戦は丹生高校をそれぞれ取りベスト8に進出。その活躍ぶりは目覚ましいものがありました。

去年は部員が少なく苦労したため、今年に入試の合格発表と同時に部員を勧誘したそうです。

身長179センチ、体重96キロというキャプテンの土蔵有二さんは「部員は全部で20人、そのうち16人が1年生で3年生は僕だけです。今度の大会では、丹生高校と延長13回まで戦って勝った、あの感激は忘れられません」と日焼けした顔をにっこり。

根っこから野球好きの彼も、1年生の夏には一度野球部を離れ、2年生の夏に再び野球部に入ったそうです。「あの時やめていなければ、自分ももう少し充実していたかも知れません。何ごとも一度決心したことは、最後までやりぬくことが大切ですね」と、高校生活最後の夏をさわやかに振り返っていました。



礼儀正しい子供たち

訪ソ婦人の船 森田 豊子さん

さる7月26日から8月8日までの2週間にわたって行われた「訪ソ婦人の船」には、当市から一般団員として3人の婦人が参加しました。

そのうちのひとり、森田豊子さん(36歳)は、小学校6年生と4年生の2人の子のお母さん。2年前までは愛育会のリーダーとして、今は地区の婦人会の理事として活躍しています。

今度の訪ソ婦人の船には、特に子供のしつけや教育に関心を持って参加したそうです。

「ソ連の人たちは、想像以上に明るく親切で、どこへ行っても手厚く迎えてくれました。子供たちも、とても礼儀正しく、徹底したソ連の幼児教育には大変感銘しました。それに、夜も一定の時刻を過ぎるときちゃんと消灯するなど、省エネに対する意識も非常に高いです。私たち日本人は、あらゆる面において少しぜいたく過ぎるような気がしました」とソ連でのスナップ写真を手に、熱っぽく話していました。

星は神秘的で美しい

親子天文講座 岡本 昭碩さん 裕司君

下庄公民館の親子天文講座には、現在14組の親子、約30人が受講しています。

「自分も一度でいいから、天体望遠鏡をのぞいてみたいと思っていましたし、それに、ふだん子供と接する時間が少ないので、夏休み中に少しでも子供との触れ合いの場が持てたらと思って申し込みました。講師の人も立派な資料を準備されて、親切丁寧に教えてくれます」とお父さんの昭碩さん(40歳)は満足な顔。

「これまで木星・金星・土星などいくつかの星を観察してきましたがとにかくレンズを通して見る星は、一段と美しく神秘的ですね」と星の魅力を強調します。

お父さんのそばで「星って、あんなに大きくてきれいやとは思いませんでした。これからもできるだけ休まず参加して、一つでも多くの星を観察したいと思います」と4年生の裕司君。彼の目も夜空にひと際光る金星のようでした。



健康メモ ⑬

お年寄りとボケ症状

保健センター 亀井保健婦

わが国も、スウェーデンやノルウェーと並ぶ世界の最長寿国になりました。これを裏返せば、それだけお年寄りが多くなっているということです。

大野市の老年人口(65歳以上)の占める割合は、表のように全国平均よりも高くなっています。

普通、人間の体は20歳を頂点に変化していくといわれます。極端なことをいえば、生まれた瞬間から老化しているともいえるのです。

しかし、老化の速度には個人差があり、特に精神的要素と大きなかわりがあります。昔から「40の手習い」ということわざがあります。老

後を若々しく過ごすためにも、中年から仕事以外の何か興味のあるものを見いだすことが必要でしょう。

周囲の理解が大切

ボケに対処するためには、周囲の人はなぜこの人は異常な行動をするのか、その症状の意味するものは何かを考えることが大切です。

例えば、食事をしたあとから再三ごはんを食べさせてほしいという人は決して口が卑しくなったのではあ

りません。食べたことを忘れてしまう一つの症状なのです。食べたいという相手の気持ちを損なわないで「ごはん食べたいの? だけど時間がまだ早いから、12時になるまで待ってネ」という方がよいのです。

先に言ったことは忘れているのですから、同じことを繰り返す言えばよいのです。待つことを経験させるのが大切です。ごはんを食べた印をカレンダーか何かに記入していくのも一つの方法です。

自尊心を傷つけない

夜、急に飛び出したりするときは「どこへ行く」と大声でどなるのではなく「どこへ行くの。まだみんな寝ているんやぞあ」と言って、一緒に寝てあげることが大切です。

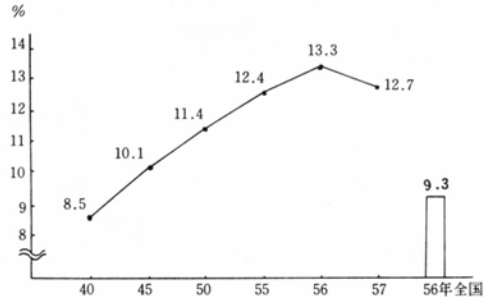
夜になって家族が帰って来ると安心するものの、電気を消して1人ぼっちで寝ると緊張が高まり、異常行動を増長させるものです。

お年寄りは子供ではないのですから、しっかたり再教育するつもりで対処することはやめましょう。相手の自尊心を傷つせず、まず無条件に受けとめるようにしたいものです。

ボケは単に励ますのではなく、普通の病気だと考えて相手の気持ちをくみとりましょう。寂しさや孤立感を持たないように心掛けてください。

日ごろから、それぞれ各自で健康で長生きする工夫を積極的に考え実行してほしいと思います。

大野市の老年人口の占める割合



※「57年市保健衛生」から



66 きたみかど 北御門



小山城のあった城山には、一の平・二の平・三の平があり、城のあった三の平は現在は削りとられています。ここは室町時代に越前守護だった斯波氏の出城で、のちに朝倉氏に滅ぼされました。この周辺の田には、今も堀立、鍛冶、天神堂という地名が残っており、北御門という名も、城と深い関係があることが想像されます。

近くの城腰寺の後方には経塚があり、基盤整備のときもそのまま残されました。

道場には、市指定文化財の胎内に納経された阿弥陀如来立像、光明本尊画像、天狗面(鼻高面)が保存され、どれも室町時代のものといわれています。

尼寺の前の生活改善センターで

は、米の出荷について話し合われていました。壁にかけられた表彰状から、バレーボール・貯蓄推進・生活学級・タバコ耕作など婦人部の幅広い活躍を知ることができました。

集落には、昭和49年にできた共同のタバコ乾燥場があり、この村からも5軒が利用しています。21戸の小さな集落ですが、タバコのほか、牧草・里芋・イチゴ・自家野菜などの転作をしています。9月30日までは、米の品質向上総仕上げ月間運動が展開されますが、農家が抱える厳しい課題に考えさせられました。(T)



市職員の採用試験

市職員を次のとおり募集します。
 〈採用予定人員〉事務職3人
 〈受験資格〉昭和35年4月2日～41年4月1日に生まれた人
 〈試験〉第1次試験 10月30日(日) 会場 大野高等学校
 第2次試験 11月下旬
 〈受付期間〉10月1～11日
 〈申し込み方法〉市役所庶務課にある申込書に縦6枚、横4枚の写真をはって提出

保健センターだより

〈健康相談〉

〈日時〉9月16日(金)午後1時～2時
 〈内容〉内科系相談
 〈担当医師〉齊藤 馨氏

〈離乳食相談〉

〈日時〉9月18日(日)午前9時～

「施設めぐり」は28日に

多数ご参加ください

市内の主な施設を目で確かめ、市政への理解を深めてもらうため、今年2回目の施設めぐりを次のとおり行います。ご参加ください。
 〈日時〉9月28日(水)午前8時30分～午後5時
 〈対象〉一般市民100人
 〈経費〉100円(宝慶寺宝物殿の拝観謝礼)
 〈持ち物〉水筒・雨具・ごみ袋(昼

食は市で準備)

〈コース〉市役所～清掃センター～職業訓練センター～奥越高原牧場～奥越青少年の森(昼食)～宝慶寺いこいの森～宝慶寺橋本家～健康管理センター～市役所
 〈申し込み〉9月22日(木)までに市役所秘書広報課(6-1111内線204)へ

12時

参加希望者は、16日(金)までに申し込んでください。

詳しいことは、保健センター(5-7333)へお尋ねください。

消防署から

乾燥機の火災にご用心

農家では秋の取り入れが始まり、モミ乾燥機を使用する時節となりました。

このモミ乾燥機の取り扱いの不注意により毎年火災が発生しています。

せっかくの収穫物や貴い財産を火災から守るために使用前には必ず点検するとともに、正しい使用方法を守ってください。火災は、ちょっとした油断から発生することが多いのです。

今月の市民大学講座

「市民大学講座」の9月の日程は次のとおりです。(会場は有終会館)

日	内 容	講 師
3	野の花・山の花 —ふるさとの植物—	石本昭司氏
10	小さな虫たちの世界 —ふるさとの昆虫—	羽田義任氏
17	ふるさとの自然を語ろう —自然観察コースまとめ—	佐野・伊藤・石本羽田の各氏
24	古文書が語る大野の歴史 (1)	河原哲郎氏

単位 円

生活関連物資の価格調査結果(八月)

品名	価格	最高	最低	平均	前月平均
砂	糖(1kg)	268	188	242	256
小麦	粉(1kg)	228	190	208	202
食用	油(700g)	395	290	332	328
しょうゆ	(1ℓ)	280	245	265	260
バター	(225g)	390	348	379	382
卵	(Mサイズ10個入り)	200	165	181	182
スパゲティ	(300g)	155	125	136	136
ティッシュペーパー	(紙箱200組)	158	99	145	145
キュウリ	(100g)	48	12	26	24
トマト	(100g)	42	9	22	22

問い合わせは市役所生活環境課へ

9日は「救急の日」

9月9日は「救急の日」です。不慮の事故などで救急車を利用する場合は、落ち着いて正確に知らせましょう。正しい利用にご協力を。

スマイル

「夏の思い出」
 宿題むつかしかったなあ
 —父親

市民カレンダー

9月10日～9月24日

10(土)	市民大学講座	19.00～21.00	有終会館	9月の納税 国民健康保険税 第2期 国民年金保険料 第2期 30日までに納めてください。
11(日)	ガソリンスタンド当番 (株)酒井商事中津川給油所			
12(月)	法律相談	13.00～16.00	商工会議所	
13(火)	交通事故相談 金融相談 婦人ガン検診	10.00～15.00 10.00～16.00 13.00～14.00	市役所 商工会議所 三浦織物	
14(水)	結婚相談 行政相談	10.00～15.00 13.00～16.00	有終会館 有終会館	“ふるさと探訪”は25日 市民大学ふるさと巡検コースの第3回は「山里に行く」です。 参加希望者は、9月17日(土)までに市教委社会教育課(5-7350)へ申し込んでください。募集人数は25人です。 <日時> 9月25日(日) 午前8時20分 分市役所前集合(マイクロス利用・雨天決行) <内容> 西谷・和泉村方面の地形観察と植物採集
15(木)	敬老の日			
16(金)	婦人ガン検診 健康相談(内科系) 特設人権相談	13.00～14.00 13.30～14.30 13.00～16.00	稲山織物本社 保健センター 大野公民館	
17(土)	農業結婚相談 市民大学講座	13.00～16.00 19.00～21.00	有終会館 有終会館	
18(日)	ガソリンスタンド当番 離乳食相談	大野丸善給油所 9.00～12.00	保健センター	
19(月)	胃検診 献血	9.00～11.00 10.00～15.00	保健センター 下庄公民館	
20(火)	彼岸入り 胃検診 社会保険・健康相談	9.00～11.00 10.00～15.00	保健センター 大野織物組合	
21(水)	十五夜 結婚相談 行政相談	10.00～15.00 13.00～16.00	有終会館 有終会館	
22(木)	心配ごと相談 胃検診	9.00～12.00 9.00～11.00	市役所 保健センター	
23(金)	秋分の日			
24(土)	市民大学講座	19.00～21.00	有終会館	

発行 福井県大野市

編集

秘書広報課(電話 01111)

印刷 (株)松浦印刷



長いと思っていた
夏休みも、あつとい
う間に過ぎてしまっ
た▼始まる前は四十
日もあれば何でもで

きると思っていたが、終わってみると何もできなかったむなしさだけが残る。夏休みとはこんなものなのか▼しかし子供たちは、生活の場がすっぽり家庭に移ることで、学校では得られない何かを身につけようとひそかに期待していたのだ。受け入れ態勢が整わないのは親の方で、夏休みの宿題ができていくかどうかだけに躍起となり、勉強、勉強と口やかましい日々を送る▼夏休みこそ親の出番。日ごろ気になりながらも、勉強優先で目をつぶりがちだったしつけと本格的に取り組める絶好の機会なのだ。もし、このように受け止め実行していたなら、これまでにかんまりの内容をマスターさせることができただろう▼ぞうきんがけ、食器の始末洗濯物のたたみ方、草むしりなどの生活技術のほか、来客との応対や接待など親だからこそ教えられることがいっぱいあるはずだ▼学校がある時は、朝が忙しくてゆっくり拝めなかったご仏前で、家族そろって手を合わせるゆとりも出てくるだろう。これが習慣化されれば夏休みの大きな成果ともなろう▼教えないことは、できなくて当然。子供の不器用・不作法を嘆くより、親としての才覚のなさを悔い、来年こそはこれだけはしたと、胸を張って言える何かを子供に残せる夏休みにしたいものだ。

(1)